

# 抄録原稿作成方法

抄録原稿には原則として、目的・方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献（実践報告は別途参照）を1800字程度にまとめる。用紙はA4判1枚に簡潔に記述（図表などを含む）する。図表は、白黒印刷で判別できる明瞭なものを作成する。研究及び実践報告を行う上で文献（尺度等）があるの出典は必ず記載すること。

## 1. 用紙について

- 1) A4判横書き、本文は2段組み、1800字程度、全角23字×40行×2段、上下左右の余白を2cmに設定する。
- 2) 発表者、共同研究者、所属、本文の文字は、10.5ポイントの明朝体とする。
- 3) 英文およびアラビア数字は半角とする。

## 2. 図表の挿入について

- 1) タイトルは表の場合は上に、図の場合は下につける。

## 3. 番号の付け方について

- 1) 以下の順で記載する。

I II → 1 2 → 1) 2) → (1) (2) → ① ②

- 2) 引用文献の前に番号はつけない。

## 4. 文献の記載について

- 1) 参考文献は記載せず、引用文献のみ記載する。
- 2) 引用文献は引用順に番号をつけ、本文引用箇所の肩に<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>などで示し、抄録原稿の最後一括して引用番号順に記載する。
- 3) 文献の記載方法は、以下の香川県看護学会誌原稿執筆要領を参照し次のように記載する。

### 【雑誌掲載論文】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)。

### 【単行本】

著者名：書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

著者名：表題名，編者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

### 【翻訳書】

原著者名：書名(版)，発行年，訳者名，書名(版)，発行所，頁，発行年(西暦年次)。

### 【電子文献】

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，頁，発行年(西暦年次)，アクセス年月日，URL。

発行機関名(調査/発行年次)，表題，アクセス年月日，URL。

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルを対象とする。

## 5. 倫理的配慮について

- 1) 個人等が特定されないように配慮する。

例：A氏、30歳代、約300床の公立病院

- 2) 倫理審査委員会名の表記は原則実名で記載する。ただし、対象者が少なく個人が特

定される場合は、実名ではなく『所属施設の倫理審査委員会』の承認を得たことを記載する。

- 3) 倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得る。

ただし、倫理審査委員会以外の決定機関（幹部会議、看護部、委員会等）の承認を得ている場合は、『倫理審査委員会相当の機関』から承認を得たことを記載のうえ『対象者から自由意思による承諾を得ていること』『不利益を回避するための配慮を実施したこと』を記載する。

#### 6. 利益相反について

- 1) 利益相反について記載する。

#### 7. 図表等について

- 1) それぞれに通し番号とタイトルをつける。表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、センタリングする。
- 2) 図表等は必要最小限の枚数に留める。ただし、図表等が占める割合は論述部分の文字数の半分以下とする。
- 3) 白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。

#### 8. 引用文献について

- 1) 引用文献は、引用順に本分の引用箇所の肩に<sup>1)</sup> <sup>2)</sup>と番号をつけ、本分原稿の最後一括して引用番号順に記載する。

令和3年3月改訂

令和4年8月改定